



工部省

ミヤバニールト新開抄譯

4080



114
A 4161



シヤパンニヘラルト新聞紙中文書贈答之条

抄譯

贈書人之說ニ服従セサル答文

シヤパンニヘラルト出版主ニ呈ス

今茲ニ弁説スルハ文癖ヲ以テニ非ス余カ好マサルトニ
シテ余素ヨリ此事ニ付満全ノ度分ヲ爲スニ是ラサル
トヲ知ルト雖モ本分ノ故ヨリシテ余ヲメ斯ク爲サシム
ルナリ因テ今先回發行ノシヤパンニウヰキリトメド

大正十一年四月
限侯爵郵寄贈

ノ中ニ見エタル天王へ奏呈スル状文ト云へル条ノ定論ヲ
并駁セントス按スルニ此奏文ハ偏見ニ妄漫ニシテ全ク
今日ノ事實ト反シ史冊ニ苗記スル所ノ者ト適ハス
斯ク論弁スレハ余ハ耶蘇宗徒ニ非ラサルニ似タレモ余
ハ「子ヨルナナ」一エニケラント一耶蘇教ノ門徒ニシテ我
宗教創造者ノ教法ハ當今ノ時勢ニテハ人間ニ於テ
全クハ服従ニガタキモノアリト豈モ山豈之ヲ稱賛具
セサラニヤ奏文ニ論定ス西國學問技藝ノ大強カ

大功勞ハ信望愛ノ三徳ヲ教法トスル所ノ耶蘇教
ニ原ツクナリト
三四千年前埃及人^{エジプト}大ニ學術ニ長スルト當時ノ史
記ヲ以テ證スヘシ而シテ其人耶蘇宗徒ニアラズ又
學術ニ達シタル希臘人ハ殆ニト三千年前既ニ
今日拔群ト考ル所ノ諸事ニ於テ大ニ熟達ニシテ
今ノ耶蘇宗徒ノ能ク及ヒカタクモノ往々之アリ
其詩賦雕刻築造法律學博物學器械術等ニ

至テハ今日尚ホ我カ学校ノ模範トナレリ又西國
法律ノ基本ハ法律制度ノ生處ト稱スル羅馬ヨ
リ起ラザルハナシ

羅馬ノ衰フルニ及テ耶蘇教傳播ニ學術技藝
ハ墮没萎衰シテ千五百年間ハ僅ニ不學ノ耶蘇教
師ヨリ虛明ヲ以テ顯照スルノ三此慘毒ナル教光ニヨリ
テ頗ル殘虐ナル智巧ヲ運ラシ互ニ相殺戮スルノ風習
トナレリ門徒ノ暴虐ナル戦争ノ爲ニ弑殺セラル

者千万人ニ及ヘリ又西班牙スペイン王非立フィリッノ爲ニ己レノ信
奉スル所ノ教法ト異ナル所アルヲ以テ死刑ニ命セ
ラレシ耶蘇宗徒三百万人ナリニトゾ又一ヶ處ノ刑
法官ニテ生ナガラニシテ火刑ニ處セラレ、者一万
人ナリニトゾ又サントバルソロメウ仙蘭西ノ地名ノ暴虐ノ
如キハ八九千人ノ殺害ト云レ前件ニ比スレハ言フ
ニ足ラサル小事ナリ如シ奏文ノ作者ヲシテ氏テ此
等暴惡ノ所業ニ就テ詔ハシメハ西班牙葡萄牙ノ加

特^カ加宗徒ノ所為ト謂フヘケレト凡決ニテ其謂
 ハレ十三加特力教ハ仁愛ヲ以テ基存トシ統權ノ
 宗門タリトエギエノツト、^{ト口口スタ}ト門徒ノ名ハ過暴ヲササハ
 リシカアアナバブチスト^{上同}ハ過暴ヲササ、リシカ此時
 人心ノ柔弱ナル實證ハ此等ノ所業ノ始末ヲ刊行
 スルヲ禁スルヲ以テ知ルヘシキ五百年代ニ及テ尚
 ホセルベキエス^{高名ナル博}ハカ^{物学家ノ名}ルビニスト^{耶蘇門}ノ為ニ
 日^セ内^ガ尾^ニス^ト井^ル地^ラ名^ニ於テ生ナカラ禁刑ニ行ハレタリ

此耶蘇宗徒ハ生民ヲ割烹セシトシダリシガ現世
 ノ勢ノ爲ニ停住セラレタリ
 前文ノ殘惡相繼テ行ハル、千四百年代ヨリ千
 七百年代ニ至リ即チ耶蘇宗教ノ行ハル、所ノ
 時代ニシテ此久シキ時代ノ間世間ハ埃及希臘
 羅馬ノ曾テ亨得シタル開化ノ彷彿ヲ得ル、
 融ハサル、一チ了解スベシ
 千四百年代ニ至テ始テ俾方利ヨリ理学ノ真光

チ漏射シテ欧羅巴西部ニ及ホシ漸次ニ増盛シテ
往時ノ悵然タル宗教ノ光氣ヲ遮隔ス印書器ヲ
發明シ福音書ヲ讀誦シ人々皆人性学ニ勞心ス
歌百尼ハ昔時希臘ニテ行ハレシ理学是即チピサ
ゴラスノ説ヲ再興ス然レモ此時ニ當テ宗教ノ威勢
尚ホ赫々タルヲ以テ歌百尼其著書ヲ發行スル
能ハス其死後ニ至テ發行ヲ經タリガレリ夫レ歌百
尼ノ門弟タリシカ故ニ責罰ヲ受ケ物質学者ノホ

ットニハ波羅士特門徒ノ爲ニ痛苦ヲ得タリ蓋シ門
徒ノ未タ祭見シ得ザル所ノ真理ヲ確定スルハ當時
ニ於テ一難学業トス
理学技藝学問ノ勢ヲ得ルニ從テテ歎乎ノ宗教
ノ威衰へ人々專ラ智カノ及ブ事物ニ志シ火輪機
電気機等ハ主要トナリ宗教ノ所謂聖人邪鬼ハ
從テ衰微ス
庶クハ此ノ如ク一二ノ例ヲ舉テ以テ證徴スルニ足

工部省
うニテ然レニ如シ奏文者ノ所詔ハ輪楸等ノ發
明ハ耶蘇宗教ノ然ラシムル所ナリト云フ説ノ非ナ
ルヲ尚ホ證セニト欲セハ之ニ一千例ヲ加載スベシ
故ニ余ハ其説ヲ全ク容レズ却テ論定スルニ夫レ
人徳ノ進歩ハ耶蘇宗門ノ最モ感念スル所ノ者
ト相及欲スル學問ヲ為スニ在リ即其學問ハ人
智ノ限區内ニ在リテ曉解シガタキ空説ノニ教
工門後ノ力ヲ尽シテ久シク拒抗シタル者ナリ

奏文ニ論定ス改羅巴洲ノ賢人豪傑ハ耶蘇宗徒
ナリト是レ如何ナル議論ゾヤ賢人豪傑ハ生レテガ
既ニ耶蘇宗徒ニシテ之ヲ奉スル素ヨリ其當ナリ
且二三百年前ニ當テ一時如シシテ拒ミシテバ生テ
ガラニシテ焚カル可シ然レモ日本人ノ冥土定罪ヲ
救済セント欲シテ刻苦スル所ノ門後ノ教エル信
念ニ就テ問フコトアリ如シキボニフエムニウトシ
ハ耶蘇宗徒ナラバ賢人トスルカ方今小文論説

ノ作者タルコレニソレキエルクナフソレナルセツト
 ハ耶蘇宗徒タルヤ總テ此諸賢モ教法議論ニ管
 ハリタル人ナレトアリユスサベルソユスアサナユス
 シヨハニナサウツコト共ニ始ノ徒ト見做シテハ人世
 ノ事務ニ專任スルト過多ナリト謂フヘシ祖ノ各藝文ニ
 擅香嶋恐クハサニドウキツノ譬ヲ舉テ踏ムベキ殷鑑
 トスレト藝文者ニ於テハ最モ不幸ノ例タリ耶蘇
 教ノ此島ニ傳來セシハ島人ハ蠻種ト虽稍道

徳ヲ具ヘタレト今日ニテハ少シモ遺風ナク却テ全
 ク耶蘇教國ノ惡習ヲ獲タリ即偽善ハ其一ナリ
 藝文ニ曰ク海陸ノ險難ヲ経テ云云ト商賈學師
 遠方ヨリ來リ企望シタル財貨ノ地ニ達スレバ西
 旅モ亦樂シカラズヤ恐クハエキスレル教師會所ホール
 ニアチ除ク外ハ瑣々タル虛誕ノ教説ニ貴價ナキ
 チ以テ宗教師ハ財貨及安樂ノ地ニ至テ常ニ其志
 チ達セルナリ

又曰支那人、耶蘇宗徒タラサルカ故ニ之ヲ惡ミ
之ヲ輕ニズト歐羅巴洲通商諸國ノ之ヲ好マザ
ル所以ハ西人ヲ疎外ニシ貿易ヲ壅塞スルヲ以テ
ナリ千人ノ中ニテ九百九十人ニ至ルマテ之ヲ好マサ
ハ他ニ非ス貿易ノ故ヲ以テナリ

上帝不敬ヲ拒ク國法ノ國人如何ニシテ外國ニ來
リ其國在來ノ宗教敬テ覆カヘサント務ムルヤ余ニ
於テ奇怪ニ堪ヘズ此國ノ上帝不敬ナルノ説法

ナルハケレ元如シ日本或ハ支那ノ僧徒歐羅巴國ニ趣
キ耶蘇教ヲ嘲ケリ己ノ教法ニ勸化セントセシテ
ハ刑罰セラル、一必セリ千八百三十一年プロテスタント
教師ノ口ベルト、テノ口ルハ耶蘇ヲ誹謗シタルカ爲
ニ二年ノ禁錮及罰金ヲ命セラレタリ又加雅力教
國ニテハ庶民信念ヲ公然ト誹謗スルモノハ一日モ生命ヲ
保ツテ能ハズユキト格シ蘭ニテハキ舌ヲ抜キ切ル國法タリ
思フニ余ヲシテ日本人タラシメバ將ニ問ハント最上

ノ宗教ヲ所有シテ以テ誇ル其國民ノ行狀ハ我カ貧
賤ナル田舎兒ニ劣ルハ如何ト家道豊富ニシテ世
務ニ熟達シタル人ノ禮儀ハ日本役人ト同等ト虽凡
下賤ノ者ニ至テハ言ヒ難シ日本貧民ノ禮儀ハ耶穌
宗門ノ水丈其餘日本ニ来リタル者ノ龜鑑トナルナリ
敢テ英文者并ニ教師ニ請フ千八百年間教導シタル
効驗トシテ余ヲシテ今日本ニ在ル所ノ者ヨリ超越シタ
ル德行ノ一例ヲ見セシメヨ余將ニ之ヲ聽ニトス必ス

德行ハ宗教ニ能ク關係スルカ如ク然ラザレハ果シテ
何ノ用ヲ為ス乎

余ニ如ク外國皇帝へ傳命スベキ程ノ許シカタキ大胆
ナレバ天王陛下ニ言ハントス國民ヲ現在ノ事務ニ達
スル様ニ教育シ高車技藝學問ヲ盛大ニスヘシ然レ
寸ハ此教育ニ因テ宗教ノ妄謬無摠ノ説モ萎衰
シ萬械ヲ統轄シタル權勢ノ優レタル思量ハ人々ノ
心中ニ布クヘシ其時ニ至テ余ハ即如次次第ノ効

工部省
驗ナリト言フベシ教ハ人民ニ安用ニシテ政府ニ欠クベ
カラスト虽此詩ニ言ハズヤ

不仁ノ憤者ナシテ信奉ノ門汎ノ為ニ戦ハシム
可シ

生事正シキモノハ過害アルヲ能ハズ

貧賤無智ノ變宗人ヲ苦ムルナカレ然レ此教師ヲ
奨励スルヲナカレ何トナレハ相反對シタル信念ヨリ
ニテ陛下ノ帝國ニ慘毒ヲ流カシ神学ノ争乱ヲ醸

スヲ以テナリト

某輯具

工
部
省